

指導者になってよかったこと

スカウトから指導者になって良かったことというパターンで最初にかかせてもらいます。

「私はとても運がいい人生を送ってると思います」

最近、会社の同僚や友人によく言うことです。

その理由はまぎれもなく、スカウトから指導者になるまで、この豊中第2団でスカウティングを続けてきたからです。

私は、どうやら4才くらいの時から、この豊中第2団の活動に参加しているようで、スカウト歴はもう20年以上になります。

もちろん、入りたくて入ったわけではありませんし、入った頃の記憶もほとんどありません。気がつけば、ボーイスカウトが生活の一部（というかほぼ全部？）になっていました。

ビーバーの記憶といえば、たくさんのお兄ちゃんお姉ちゃん（今はスカウトの保護者だったりしますが…）と楽しく遊んだこと、あとは、う〇この博物館（下水処理場）が楽しかったこと。カブになると、仲間が一気に増えて、面白い（けどたまに厳しい）浜嶋隊長と優しいデンリーダーのもとで、毎月の組集会隊集会がとても楽しみだったこと。特に、デンリーダーのお家で、おやつを出してもらって、一緒にロープや外国の文化について勉強したことなど、今でもはっきり覚えています。

ボーイ隊になると、今でもお世話になっている若い先輩指導者のもと、社会の上下関係や人生の教訓（良いことも悪いことも…詳しくはここには書けませんが）たくさん教えてもらいました。

そして、ベンチャー、ローバーと、コミュニティはどんどん広がります。これまで、団の中で教わったことを活かす場として、そして社会との新たな出会いとして、地域での活動や、ほくせつ地区の他の団、日本中、そして世界中のスカウトとの出会いがありました。

前置きがかなり長くなってしまいましたが、ここからが本題です。

先に書いたような経験を積んで、現在、指導者になったわけですが、、

「運がいい」という理由がここにあります。

ボーイスカウトをしていると、

「気づかないないうちに」「周りのたくさんのおとなと触れ合ううちに」「年代に応じたワクワクする活動を楽しんでいるうちに」

社会に出たあと本当に役に立つ、能力や精神、チームワークや奉仕の心が身につきます。そして、社会人となった今、それに気づき感謝の気持ちを指導者として次の世代につないでいます。

では、指導者になった今、与えるばかりか？

これは、他の指導者の方々と同様、そんなことはありません。スカウトから学ぶこともありますし、指導者の研修で学ぶこともまだまだあります。さらに他の団や他の地区の先達からお話を聞く機会もあります。

その度にスカウティングの奥深さに感動し、

その度に、自分の人生とは、何なのか？考え直し、

その度に、100年以上も前に考えられた教育法の新しさに気がつきます。

これ以上は、マニアックな話になってきますので、引かれるといけないので控えます（もう引かれてるかもしれませんが…）。ご興味のある方はぜひ飲みにいきましょう！

何度でも言いますが、

自分の年代で、これだけの「出会い」と「学び」と「経験」を積みかせてもらい、しかも、常に楽しく、常に多くの仲間と囲まれて、毎週いそがしく活動させていただいている。お役に立たせてもらっている。

豊中第2団という恵まれた環境で成長させてもらっている。

こんなに「運がいい」人生を送っている同僚や友人は、あまりいないんじゃないかな？という自信があります。

最後に、こんなボーイスカウトにも悪いところ？というより、気をつけないといけないところがあります。

それは、楽しすぎて、奥が深すぎて、のめり込みすぎてしまうことです。

ついつい、友だちとバカな話をするより、おじさんと人生の話をする方が、女の子と遊ぶより、スカウトたちと遊ぶ方が楽しくなっちゃうんですね。

よく、「お前は普通じゃない」と言われます。普通って、なんでしょうね？

普通が何か考えます！

次の私の目標です！応援よろしくお願いします！